

サニーサイド・キャンプ

2018年7月29日－8月4日

サニーサイド・クリスチャン・リトリートセンター
202 Birchcliff Road, Sylvan Lake, AB,
(16 kms. West of Red Deer, AB)

詳細はこちらからご覧ください。 www.CJMin.com

北東日系 クリスチャン 修養会2018

2018年8月3－4日
場所 トロント日系福音教会：
301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON

詳細はこちらから- www.CJMin.com



ゲストスピーカー：
原田憲夫牧師
元横浜緑園キリスト教会牧師

CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2018年春号

CJM AGM/Conf. 2018

場所：トロント日系福音教会
301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6

2018年5月25－26日

コンファレンス・スピーカー：

リチャード・ナカムラ：

1989年から2011年までSENDインターナショナルを通し日本にて教会開拓に携わる。

現在、ケリ夫人とワシントンにて日本人ディアスポラの宣教師として仕えている。



コンファレンスは金曜午後5時30分にレジストレーションを開始、夕食の弁当は事前にご注文いただきます。

コンファレンスの詳細はケビン・ウエタ牧師
647-298-6422 / kyoura@gmail.com

または

ノリ・カナシロ (416) 321-5831 Email: nbkan11@gmail.com
までご連絡ください。

See CJM website: www.CJMin.com for
Information, Registration & Schedule

Yoko Naito Cross-Canada 2018 Gospel Concerts

ゴスペルシンガーの内藤容子師とピアニストの阿部篤志師をお迎えし、賛美と証の時間が持たれます。ゴスペルコンサートは以下の日程で行われます。

6月29日：トロント - (647-298-6422)
7月1日：カルガリー - (589-434-1783)
7月4日：バンフ - (403-688-2091)
7月7日：バンクーバー - (604-596-7928) or (604-521-7737)
7月8日：ビクトリア - 778-350-0826)

イベントの詳細は近日各イベント会場に広告が用意される予定です。イエス・キリストの福音や賛美を聞くことのできる素晴らしい機会ですので、是非ご家族や友人をお誘いの上ご参加ください。

カナディアン・ジャパニーズ・ミニストリー主催
www.CJMin.com

The CJM REPORTER is published semi-annually by the Canadian Japanese Ministries. News items, reports, testimonies and notices of events are welcomed by the editors. Next publication, October 15, 2018. Published in Toronto, ON

EDITORS:

Nori Kanashiro 56 Wakefield Cres., Toronto, ON M1W 2C2 Tel: 416-321-5831 Email: nbkan11@gmail.com

JAPANESE TRANSLATION: Miki Nakano, Yumi Ijichi, Minako Ebisuzaki & Masako Tanaka

YOUTH IN ACTION Editor: Marie Fuki Email: marie.fuki@yahoo.com;

CJM Website: www.CJMin.com

何のために？

金城ノリ

今から72年前の1946年、CJMは宣教団体として発足しました。それより以前には、日系の福音的な教会は、カナダにはありませんでした。みなさんすでにご存じの通り、その当時は戦争の影響で、日系カナダ人はBCの片田舎にあるゴースタウンに収容されるか、または東カナダで散り散りとなって生活していくことが強いられました。CJMが発足されたところは、BC、アルバータ、そしてオンタリオで散り散りになっていた日系人に届いていくことを念頭に活動がなされました。そしてそれに若者たちが福音にตอบสนองし、各地で教会が始まりました。多くの日系人の若者が聖書学校に行き、牧師や宣教師、またその他の主に仕える働き人となるために、訓練を受けました。

CJM創設の時のモットーは、散らばった日本人に福音を知らせ、人々がみ言葉にしっかりと根差し、地域教会につながる事が出来るようにすることでした。それから70年以上たった今、何が変わったでしょうか？

私たちの周りはずべてかわりました。それにもかかわらず、福音と私たちに与えられている使命には全く変わっていないのです！初期の宣教では様々なコミュニティーにでていくために、宣教師が雇われ、各地で教会が立てあげられていきました。神様は長年にわたり、誠実であり続けて下さいました。そして今、私たちはその立てあげられた教会と共に、福音的な日本人の集まりがまだ確立されていない地域に届いていくために、尽力していくのです。

私は、教会成長について書いてある一人の牧師の書いたレポートを目にして、とても励まされました。そこには、「『教会成長とは人数を増してひとつの教会が大きくなっていくということではなく、増殖していくこと』だと書かれている定義に出会い、考えさせられた」と書いてありました。この定義は新しいものではありませんが、初期の教会成長の在り方に通じるものがあります。*

ミッション・アポインティー

日本への宣教準備中の二人

日系4世のジェシカさんは教会で育ち、日本やジャマイカに宣教旅行にも行き、神様の働きに参加していくことの重要性を認識しながら育ちました。2013年から2016年にはOMFカナダのアジア地区コーディネーターとして奉仕し、東アジアに福音を伝えていくことの重要性と必要性をより強く感じるようになりました。

ケビンさんは6歳の時にマレーシアからカナダに移ってきて、27歳の時にキリストを救い主として受け入れました。医療の分野で仕事をしてきたケビンさんはハイチやケニアに宣教旅行に行き、そこで長期宣教へのチャレンジを受けました。

2014年の6月に二人は結婚し、東アジアに福音を伝えるビジョンが与えられ献身しました。2015年の11月に東アジアでフルタイム宣教師として仕えて行くためのOMFのアポインティーとなり、2017年にその準備としてシンガポールの弟子訓練センターで神学を学びました。二人は、シンガポールでの学びの最中にビジョントリップとして日本に行き、そこで日本人に仕えていきたいという強い思いが与えられました。2人は現在トロントに戻り、仕事を持ちながら宣教地に行くための準備をしています。彼らに、二人のビジョンに賛同して、パートナー・チームとなってくれる人が、与えられ、必要が満たされるようにお祈りください。2018年に日本に行き、言語訓練と文化訓練を受けることを目標にしています。二人のことを祈りに覚えて下さい。jessica.ln.teh@gmail.com *

バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1
日曜礼拝 午前11時より (日本語/英語)
福迫徹也牧師 (日本語部)
604-517-4578 vjgc@telus.net
Website: www.japanesegospelchurch.com



「奉仕のために整えられる」

主任牧師 福迫徹也

CJMファミリーの皆様と諸教会に神様の祝福と導きがあり、それぞれの場において主のみわざがなされ、キリストのからだ建て上げられるよう覚えて祈っております。

私たちの教会では3月1日に年次総会が開かれ、教会としての新しい年度をスタートしました。今年の教会のテーマは「奉仕のために整えられる」でテーマ聖句はエペソ4:12です。

初代教会が困難や迫害の中、大きな成長を遂げた一つの要因はキリストが奉仕のために整えられてキリストのからだである教会を建て上げたことにあります。

教会に来るクリスチャン一人一人はお客さんではなく、神様によって召された神の家族の責任ある一員です。私たちの教会でもこのことを覚え、一人一人のクリスチャンがキリストのからだの各器官としてキリストのからだである教会を建て上げるために霊的に整えられていく一年になりたいと願っています。

少し前になりますが、カナダにある日本人教会の牧師が書いた記事を読んで、驚きと共に考えさせられたことがありました。現在、その教会は礼拝出席者が20名ほどですが、戦前のある時期は300名を超えていたそうです。その記事の中に、なぜ、礼拝出席者がこれほどまで減少したのかについて書いてありました。それは、当時は教会が日本から来る人々にとってコミュニティセンター的な役割をしていたので、日本人が教会に多く集まっていた。しかし、現在は教会以外に日本人が集まる場所がたくさんあるので、教会に人が集まり難くなっているとのことでした。私はこの記事を読んで、半分は正しくて半分は間違っていると感じています。

宣教論的視点から見た時、教会がコミュニティセンター的な役割をすることはとても大切です。ノンクリスチャンが教会と接点を持ち、教会につながるために用いられるからです。しかし、それだけで教会につながり、主を信じて、教会の一員になったとしても、キリストの弟子として成長し、奉仕者として霊的に整えられなければ、キリストのからだである教会は建て上げられないからです。このことを実際に行っていくためには、未信者へのアウトリーチと同様に多くの労力と困難が伴います。しかし、未信者への伝道とクリスチャンの弟子化こそが、主イエスの宣教命令であり、いつの時代のどの教会であっても目指すべき教会形成の土台であると考えています。*

エドモントン日系キリスト教会

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5
 (Zion Baptist Community Church にて)
 日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)
 牧師: 田村寿宏 電話: 587-986-8161
 Eメール: tamuratoshihiro1981@gmail.com
 教会HP: www.ejcc.ca



田村寿宏牧師

主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の豊かな恵みと祝福をお祈り申し上げます。昨年は「励まし」というテーマを掲げ、特に目には見えないもの、永遠の神の約束に心を留めつつ歩んできました。2018年はこの神の約束の希望をさらに次世代へと「継承」していくことをテーマに歩んで参りたいと思います。

また私たちは神の家族としての一致を大切にしています。継承においても互いの価値観を押し付け合うのではなく、互いの違いを認め、補いあい、活かすことを一人一人が大切にする教会でありたいと思います。今年は年に数回、子供たちも一緒に参加する、子供たちの霊的な励ましと成長を目的とした礼拝を計画しています。また求道者の方々により深く神様を知って頂き、キリストと共に歩む人生を奨励するためのバイブルスタディが新たに始まりました。どうか主が彼ら次世代を祝福し、地の塩、世の光として豊かに整えてくださいますようお祈りください。*



田村寿宏 牧師、ひろみ夫人
ひなたちゃん

グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB
 (Banff Full Gospel Churchにて)
 日曜礼拝: 午前9時より
 牧師: 榎実
 Eメール: banffgjcc.enoki@gmail.com



親愛なるCJM諸教会の皆様へ 主の御名を崇めます

肌寒さがまだ残るここアルバータの気候ではありますが、春の訪れをいよいよ間近に控え、心が弾む昨今であります。皆様はいかがお過ごしでしょうか？
 今回は、私たち夫婦が2月の帰国時に受けた恵みとチャレンジをこの場を借りて分かち合わせて頂ければ幸いです。
 毎年、この時期にデプテーションも兼ねて、グレースチャーチを22年に亘りサポートして下さっている日本の諸教会を訪問し、奉仕をさせて頂いています。

毎年、これらの諸教会との関わりを通じて CJMをはじめ、カナダ日系人諸教会の為に覚えてお祈りくださる兄弟姉妹の方々が年々増し加えられていることに主の恵み深さを感じております。また毎年二月に行なわれる全日本の教役者大会において、“教会成長を再定義”するという事について大きな励ましを受けました。教会は従来の“成長”の概念から一方踏み出し、“教会を生み出す教会”(牧師、使徒的リーダーを含め)こそが、これからの日本宣教、また世界宣教において成長していく教会であり、生き残っていく群れであるということ。御国の働きとは絶えず“拡大”していくものであるという原則を聖書から学ぶ時に、今後のCJMの発展と働きにおいても、新たな耕地が開拓され、また日系人教会が起こされ、その事を通じてCJMの働きが益々活性化されていけば幸いであると個人的に願う者の一人であります。この年、私どもの教会も宣教のビジョンを掲げる中で、羊を生み出すのは牧者ではなく、“羊”であることを覚えつつ、自らを含め、兄弟姉妹の各人が新たな魂を“生み出す”群れとして、整えられ、豊かに用いられていく年になることを願っております。CJM諸教会も覚えつつ、新たな地境が広げられていく年となることを心より願い、お祈りしております。*

ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9
 (Trinity Baptist Churchにて)
 日曜礼拝: 午後2時より
winnipegjapanesechurch@gmail.com
www.wjac.weebly.com



種まきの教会

小笠原都子

2018年を迎えて、教会では恒例の新年会を行い皆で会食の時を持ちました。今年の新年会には以前教会に通っていた詩織さんにはるばるモンリオールから参加して下さり、嬉しい再会となりました。詩織さんは年の近いお姉さんと妹さんと三つ子のようにいつも一緒にいる姿がかわいらしかったのですが、約6年ぶりとなる今回の再会では、すっかり大人の女性になっていて我々にはびっくり。でも話してみると以前と変わらない、明るく素直な、そして礼儀正しい詩織さんでした。
 詩織さんの妹さんが4月にウィニペグに戻ってくることになり、それに合わせて詩織さんも引越して来て姉妹でウィニペグでの生活を再スタートする予定とのこと、2人との再会を皆で心待ちにしているところです。教会も賑やかに華やかになることでしょう。

海外の日本人教会はどこもそうだと思いますが、私たちの教会も兄弟姉妹が日本への帰国、または他地域への移動などの理由で教会を離れることが多く、時には寂しい思いをすることもあります。ですが、続けて教会へ連絡をくださる方、教会を訪問して下さる方、今回のようにウィニペグに戻ってくる方がいて、私たちの大きな励みになっています。ある姉妹が「私たちは種まきの教会ですね」とおっしゃいました。そうです、私たちは種まきというご用を神様からいただいているのです。

3月は岡本タツエ姉と申八重子姉の誕生日が続いています。タツエ姉は102歳、八重子姉は95歳になられました。お二人の誕生日にはそれぞれケーキと花、そしてブルース・ヤロー牧師手作りのカードを持ってお祝いに訪れました。タツエ姉は記憶力に多少問題が出ていますが、変わらずに軽やかな足取りで我々を迎えて下さり、我々の訪問をとっても喜んでくださいました。昨年末には数年ぶりに教会の礼拝にも出席なさいました。再び共に礼拝の時を持つことができることを楽しみにしています。八重子姉はかなり回復したものの、言葉話すこともご自分で体を動かすこともできません。ですが、姉の澄んだ瞳と穏やかな表情を見ることは訪れる者にとって会話をすることと同じくらいの喜びとなっています。*

ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC
(First Baptist Churchにて)
日曜礼拝: 午後1時30分より
石黒豊牧師
ymishiguro@shaw.ca 778-265-6092



石黒豊牧師

素晴らしい主の御名を賛美致します。
ビクトリアも3月下旬となり暖かな日々も多くなり、町のあちこちに桜、プラムの花が咲きだし、春らしい雰囲気になってきています。ビクトリア日系人教会も皆様のお祈りと主の励ましに支えられ歩むことができています。心より感謝申し上げます。

毎月1度持たれます婦人会、サフランの集いもその都度新しい方々が加えられ、聖書の学び、証しの時を持っています。また同時にもたれています男性会も平均7人程ですが和やかな雰囲気の中で英語と日本語で進めています。特にビクトリア日系人教会にとって嬉しい事は、4月1日イースター礼拝の時に2人の方の洗礼式を行います。すでに洗礼準備の学びを終え、洗礼式を受けられる2人の方も、私達、教会に集う方達も来る4月1日の洗礼式を心待ちにしています。

2018年度教会に年間テーマ聖句が与えられました。
コサイ3章15節

『キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。』
この聖句を通して平和と感謝が教会に、個人個人に豊かに溢れま

す様に祈りつつ、求め進んでいます。*

クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB
(Westview Baptist Churchにて)
日曜礼拝: 午後2時より
牧師: 谷口洋一 電話: 403-455-0074
Eメール: ymtaniguchi@hotmail.com
www.crossoverjapanesechurch.com



谷口みゆき

私たちの教会は、ウエストビューバプテスト教会のサポートのもと、日本語礼拝を守ることができています。ウエストビューでは、私たち以外、聾唖の人たちのグループとアラビックのグループが午後から礼拝を持っています。私たちと同時間に、別室で、聾唖の人たちの礼拝があります。1度出席させていただきましたが、何とも言えない美しい雰囲気があり、静けさのなか、手話の礼拝でした。

メッセージも手話でしたが、スクリーンで、概要を読むこと

ができました。彼等とはキッチンなどで会ったりしますが、たとえば、何かを置き忘れたりとか、ちょっとしたことで、助けたり、助けられたり、そんな小さな愛の交わりを楽しんでいます。

私たちの礼拝後、夕方から、アラビックの教会の人たちが礼拝されています。彼等の多くは、シリア出身の難民です。先月、初めて、私たちとアラビック教会との合同礼拝を持たせていただきました。日本語の賛美、アラビア語の賛美と、交互に歌いました。最後には、それぞれが自分たちの言葉で、同じ曲を賛美しました。言葉が違うのに、賛美に完全な一体感があり、まるで、天国の賛美の前味を味合わせていただいている感覚でした。また私たちがお世話になっているウエストビューの主任牧師がメッセージを取り次いでくださいました。礼拝後はボトックで、それぞれの国の料理を楽しませていただきました。

このように、私たちの教会は、国や言葉が違っても、主にある一致を体験させていただいています。*

トロント日系福音教会

301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6
教会電話: 416-335-5428
日曜礼拝: 午前11時より(日英両語)
佐藤明男牧師(日本語) 416-495-1534
ケビン・ウエタ牧師(英語) 647-298-6422
Website: www.jgct.com



佐藤明男牧師

私は1950年2月19日に東京で生まれ育ちました。ですから、私は現在68歳です。私は、あと2年後の70歳位で退職するつもりでした。しかし、私が教会させていただいているトロント日系福音教会も急速に変わってきており、私にとってなかなかその流れについていけないような状況になってきました。
私が昨年10月に日本におけるミニストリーのために帰国し、沖縄にいた時に、偶然、その時沖縄にいられていた私の指導者であられるハワイの牧師にお会いすることが出来ました。そして、その先生から、広島の高齢者の施設でチャプレンを探しているというお話をお聞きしました。さらに、偶然にも、私は沖縄の次に広島に向かい、広島から高速バスで2時間位のところにいる私の家内のお母様にお会いすることになっていました。それで、その施設を訪問することが出来、ちょうどヴェトナムからのビジネス旅行から帰国された理事長にお会いすることが出来ました。その理事長から今年の一月の末に再び私の家内が広島を訪問し、私のメッセージを聞いてみたいと言われて訪問しました。そして、正式に

チャプレンとして雇っていただけるようになりました。
私たちは、トロントにおける様々な残務の整理がつき次第、5月か6月に日本に帰国する予定です。勿論、14年間牧会させて頂いたトロント日系福音教会の皆様、および、JSSを含めた日系社会の皆様とのお別れは悲しいものがあります。しかし、日本は、私と家内にとって日本は、母国です。長い間離れて暮らしていた家内も広島島の近くに住んでいる母親とより頻りに会うことも出来ます。広島は、人類史上最初の被爆地です。私は、この高齢者の施設において生存されている原爆被害者のお話も聞いてみる事が出来ればと思っています。

しかし、それ以上にすばらしいのは、主イエスが私に広島で仕えることの出来る道を開いて下さったことです。旧約聖書の中で、アブラハムの孫にあたるヤコブが約束の地であるカナンから遠く離れて暮らしていた時に、次のような御言葉が神から語られました。「あなたが生まれた、あなたの先祖の国に帰りなさい。わたしはあなたとともにいる。」(創世記31:3、新改訳) 神との交わりの時を持っているときに、私も、その同じ御言葉を聞いたような気がしました。神がなさることはいつも時にかなって美しいものです。

私は、トロントで奉仕させて頂いている間に、CJMの働きに参加しているカナダの日系教会の牧師をはじめ、教会員の皆様と知り合い、主にある暖かく親しい交わりを通して、神の家族の一員として、更に主の麗しさを知ることが出来たことです。そのことを、心より主に感謝しております。CJMの皆様を通して、更に日系社会にキリストの福音が届けられていきますように。主がいつも皆様と共にありますように。*

ニューライフ・クリスチャン・チャーチ

New Life Christian Churchにて
480 Huntingwood Drive,
Scarborough, ON M1W 1G4
日曜礼拝: 午前10時30分より
エドワード吉田牧師 416-261-4302
esyoshida@sympatico.ca



エドワード吉田牧師
ウェスレーチャペル日本語教会を引退した後、今は故人となったの妻と共に一年ほど同じ教会に滞在し、交わりを楽しんでいましたが、やがて間もなくニューライフ・クリスチャンセンターとの交わりに導かれるようになりました。引退後も、トロント、特に日系人に対する救いの情熱が失せることがなく、モジジシニアセンターでの礼拝、イーボンセンター（日本人フロア）での礼拝、

二世朝食会・聖書勉強会、また日本人学生を対象にダウントウンでコーヒーハウス・ミニストリーなど、いろいろな活動を行ってきました。

新しい教会NLCCでは、1世、2世を対象に、ギデオンフェローシップという聖書に基づいたディスカッションをするグループが行われています。月に2回下の会堂で行われ、この集まりは求道者たちの心に迫るいい機会となっています。日本語を話す日系人も、また日系2世や他の国籍の方も、このスモールグループでの弟子訓練に興味を持ってくださった方は誰でも歓迎しています。最近、医療スペシャリストのイラン人2名が水曜日にフェアビューモールで行われている求道者グループに加わりました。日本の高野山で修業を積んだ、禅宗のお坊さんの妻もこのスモールグループに参加しています。神様の祝福と、新しい教会の励ましとサポートによって私たちの持つビジョンはより大きくさせられています。神に栄光あれ！
アーメン。*

モントリオール日系キリスト教集会

Peoples Church 地下にて
2097 Union Ave., Montreal, QC
集会: 毎月第3日曜午後2時より
吉野治代 514-342-8509
montrealjapanesechristian@gmail.com



吉野治代

主の素晴らしい御業に感謝します！

引き続き毎月一回、聖書の勉強会がありました。『信仰の基礎』という聖書の中心的メッセージを学ぶガイドをもとに、聖書の勉強をしました。何名かの新しい参加者に恵まれました。去年の9月から、日本語と英語の二つのディスカッション・グループで勉強しています。幾つか理解する、または受け入れるのが難しい聖書箇所がありました。それらは又更に何人かのメンバーたちとディスカッションする機会となり神に感謝です。聖書の勉強会の他に毎月一回、イベントがありました。毎回違ったタイプのイベントを持ち、メンバーがまだクリスチャンでない友達を誘える機会としました。

毎回およそ15人の参加者がありました。

11月にイベントには日本で20年間ミSSIONナリーとして活躍なさったご夫婦を招待し、聖書から結婚と恋愛について学びました。また、ご夫婦の経験もシェアして下さいました。その後、質問コーナーを持ち、良い話し合いの機会となりました。

2月は1年間、青森で宣教活動をしてきた姉妹を迎えて、彼女の経験の話聞く機会を持ち、そして日本のために一緒に祈りました。また、日本に関するクイズなどもして楽しい時間を過ごすことができました。

これらのイベントに参加して下さった人たちが、聖書の勉強会にも参加して下さることを祈っています。秋から勉強会に参加してくれているT君のためにお祈りください。聖書にとっても興味を持っておられます。また、私達がモントリオールに住む日本人の方々とも良い繋がりを持つことが出来るよう、神の知恵が与えられるようにお祈りください。

「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい」。(マタイ5:16)*

グレーストロント日本語教会

20 Glebe Road East, Toronto ON, M4S 1N6
日曜礼拝: 午後1時30分より
村井優人牧師 416-789-1902
masmurai@gmail.com
Website: www.gtjc.ca



村井優人牧師

私たちは、年に一度、「神の家族」という教会誌を出しています。例年3-4月に、前年の年間誌を発行するのですが、当教会発足以来、毎年もれることなく発行し続けおり、教会としての歩みが、まとまって記録されているのです。そのハイライトは、以下の通りです。

- 2月にK. I. 姉、12月にK. M兄の洗礼式があった。それぞれの兄弟姉妹が、素直に救い主イエスに委ねて洗礼の恵みに預かった。4月には、K. B. 兄の転入会があった。真面目な信仰の持ち主であり、2名の洗礼者同様、主イエスの祝福を豊かに受け、それぞれの家族と神の家族(=教会)の祝福のもとになるよう、祈る。
- 5月には、第一期4年間青森宣教を終えてホームアサインメントに戻ったルーク・優子エリオット家をお迎えした。2018年2月に宣教地青森に戻るまでの8ヶ月は、当教会全員にとり恵みのひと時であった。

- 7月には、当教会最初の一泊教会キャンプも持たれ、普段とは違い、教会出席者が寝食を共にする機会は、兄弟姉妹の交わりの良きときとなった。今後とも進めてゆく教会ミニストリーの一つであるが、学びのテーマを絞ることが今後の課題である。
- 当教会は、アメリカ長老教会所属なので、教会役員(=長老)は按手を受ける必要があり、現在、2名の長老候補者が与えられている。按手準備は、聖書知識、神学、証、教会戒規といった分野をテストされるので、しっかり準備する必要がある。今後の大きな祈りの課題となっている。
- 9月に、1歳誕生を迎えた子供たち4名の祝福式があった。当教会は割合子供が多い教会なので、『子供も一緒に礼拝』(鞭木由行著)の学びを、この年は継続した。子供の導きが祈りの課題として大きな位置を占めている。
- 年間を通し、男子会、女子会、グループ会における祈りの交わりが深められた。海外の日本人教会は、出入りが多い、という特徴があるので、送り出す教会となるベースが、このような形で強められていると思われている。
- 神の御前で、また、生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現われとその御国を思って、私はおごそかに命じます。みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。(2テモテ4章1-2節)*